

室蘭港長期構想検討委員会 第2回委員会

[会議録概要]

日 時：2020年2月19日（水） 午後3時00分 開会
場 所：蓬 峯 殿 黎 明 の 間 C

室蘭港長期構想検討委員会第2回委員会 意見概要

分類	内容
全体	<ul style="list-style-type: none"> • エネルギー、環境、安全・安心という部分が繋がっているものであるが、もっと強調できないか。 • 段階整備の話の中で白鳥大橋の内と外と出ていたが、産業集積を計ろうとしている中で内と外との記載があると、分散させてしまうように感じる方もいるため、違う表現を使用した方がよい。 • 実際の進め方を検討しなければならない。具体的なロードマップをつくって、この計画ができた後に、各関係者が集まりながら、見直しながら回していくような事業形態をぜひお願いしたい。 • 工業関係や企業の方々向けのような資料に見えてしまうので、一般市民に伝わり易い内容にして頂きたいと思う。 • 地球温暖化が20年後に問題になってくるため、分野のエネルギー、環境、安全をもっと強調することはできなから、例えば物流産業をエネルギー、環境、安全が貫くような形であれば分かりやすいと思う。 • 長期構想とあるが、資料でも触れられている立地適正化計画のなかで人口が減りそれに伴い税収も減ってくる部分について20年～30年後の背景が考えられてないように見える。 • 港湾計画の事業となりそうな要素については拾えていると思うが、長期的な部分の記載がぼやけているように思う。短期では対応できないという理由で長期とすると、上手く資料をまとめられないと思う。 • 天然の良港については天然であっても人工であっても良港であればよいので天然の良港の先にどんな良いことがあるかを言えないといけないし、キーワードとして使うのであればもっと上流の方で使うべき。 • 専用施設、或いは土地について今後、民間にもご協力頂き、30年後を見据えて、今の施設をスペックアップするのか、廃止するのか共に議論させていただきたい。 • 長期構想が実現すると、地域全体にどのような良いことがあるというシナリオが抜けている。 • 社会情勢や経済情勢が刻々と変わっており、一定の期間で検証を行って頂き、場合によっては新たな施策を付け加えるなど、柔軟な対応を考えていただきたい。
物流・産業	<ul style="list-style-type: none"> • 埠頭を埋め立てて用地を作るという提案があったが、その用地を有効活用するために新たな臨港道路についても考えていただきたい。 • フェリーの振興を短期的な目標の中に入れながら取り組んでいただきたい。 • シーアンドレールという提案があったが、北海道の鉄道貨物輸送ということを考えれば、室蘭がそれを肩代わりするのは有望かと思うが、具体例をもう少し詰めていくことが必要。 • トラックの自動運転が進んでいくので、室蘭港へのルートとしては、登別室蘭ICからと室蘭ICからの2ルートが考えられるが、高速道路の4車線化の計画が既に出ているため、室蘭ICから室蘭港の北側の地区へアクセスが可能になるような形をもっと強く描いて欲しい。

	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道の各市町村で最終処分場の更新時期に来ている。埋立も単純に土砂で埋めるのではなく廃棄物処理という形で捉えていただけると非常にありがたい。 ・水産物の PR があり、Sea 級グルメにつなげていきたいところではあるが、他の港と違い室蘭には水産物の加工する工場がなく、一つの課題かと思う。 ・鉄道貨物の海上シフトのきっかけが青函トンネルとしているが、もう少し内容を広げて書いた方がよいと思う。ドライバー不足は今後進んでいき、鉄道の利用は1つの方法ではあるが、海上だけではなく内陸にも目を向けて行って欲しい。また、対象がコンテナだけに見えるが、コンテナ以外にもあると思うので、例えばエネルギー関係など、もっと広く考えて欲しい。 ・航空・宇宙産業推進については先日、経産局と覚書を交わしており、そのことを記載しても良いと思う。また、自動車の10倍を超える関連産があるある航空・宇宙産業についてももっと強く書いて欲しい。
人流・賑わい	<ul style="list-style-type: none"> ・人流・賑わいの具体的な展開が見えてきていないが、原因としては景観計画が見えない。具体的には21ページの絵で、空間はあるが活動が何も書いていない。また、水産業の振興は、食産業と捉えるべき食産業とクルーズ船の連携、そこを景観計画で上手く纏めて行くという視点が見えてこない。 ・北黄金貝塚を含む北海道・北東北の縄文遺跡群は、間違いなく世界遺産に登録される。そのような状況になった場合、室蘭はますます通過地点となってしまう事も考えられるので、そのような室蘭港にとってネガティブな要素も強く踏まえていく必要がある。 また、工場夜景を売り出している中で資料に工場夜景が出てきていないが入れるべき。 ・崎守ではチャーターバスを呼んでも乗るまでの間に雨に濡れるようなこともあったので、祝津では常設の施設を設ける等して対応して欲しい。クルーズ専用ということではなく、道の駅では取扱のない生鮮食品を取扱などして、海からだけではなく陸からも観光客を取り込める施設があってもよい。 ・現在のクルーズに関係してくる部分ではあるが、ウポポイがオープンするが、それにちなんで室蘭は、アイヌ語から来た地名が多いことから、このような部分を活かして行ってもよいと思う。 また、小樽や留萌など港に関わる歴史上の人物がおり、室蘭港ではブロートン船長が有名かと思うが、このような歴史的な部分についてもクルーズ客船誘致に活かして行って欲しい。 ・室蘭観光の課題が何で港とどういう関係にするかとか、役に立つという位置付けが必要。 ・入江と祝津と2地区ある中で賑わいといってもコンセプトが違うが、今はごっちゃになっており、来訪者がどのような事をするのか、して貰いたいかの整理が必要 ・祝津・絵鞆地区におけるアウトドアゾーンをアドベンチャートラベルに絡め、各種体験など、様々なアクティビティを設けることで、室蘭のブランド化へ発展していくようなものがあれば良い。
環境・エネル	<ul style="list-style-type: none"> ・リサイクルポートとして、これから大きな課題となる廃プラをターゲットにするな

ギー	<p>ど、新しい切り口から考えて頂ければと思う。</p> <ul style="list-style-type: none">・「方針 6 環境に優しい持続可能な港～」だけではなく、「方針 1 地域産業の競争力強化」、「方針 2 生産性向上・物流効率化～」にも大いに関連があるのではないかと。・室蘭港でどれだけ環境に力を入れているか PR していく事が大事である。海外船社から、日本の港では污水处理の対応が上手くいっておらず、陸電施設に対応している港も少ないとの意見があった。室蘭港はこの部分について対応を PR して船を誘致するという方法もあると思う。・埋立が 3 カ所程度出ていたが、単純に埋め立てるのではなく、廃棄物処理という形捉えて頂きたいと思う。・SOx 排出規制の強化により、LNG 燃料船の普及・利用拡大が想定されることから、既存の LNG インフラの活用を図り、段階的にバンカリング体制構築を目指す必要性があると思う。
----	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------